

41. 膠原病の難治性病態に対する高気圧酸素療法の効果

中塚敬輔 齋藤和義 田中良哉

(産業医科大学医学部第1内科)

目的 膠原病疾患に併発した皮膚潰瘍・壊疽や中枢神経障害等の難治性病態に対する高気圧酸素療法(HBO)の有効性について検討した。

方法 膠原病疾患に併発した皮膚潰瘍・壊疽 46例(SLE12例、SSc11例、MCTD10例、RA3例、Overlap症候群3例、その他7例)と中枢神経障害を呈したSLE7例(CNSループス)を対象に、HBO(2.5 ATA, 60分、純酸素吸入)を週5~6回で計30回を1コースとして施行し、臨床症状・検査成績の変化につき検討した。なお、49例にPGE1点滴静注を、またCNSループス6例にシクロホスファミドパルス療法を併用した。

結果 皮膚潰瘍・壊疽症例に対しては、治癒した著効例8例、改善傾向を認めた有効例31例、無効例7例であった。HBO開始5回以内に14例に創部の疼痛軽減・肉芽形成を、10回以内に28例で改善傾向を認めた。CNSループスでは、不穏・不全片麻痺(5/5)、SPECTでの脳血流低下(2/2)、MRIでの白質病変(5/5)の改善を認めた。また、CRP, ESR, IgG, IgA, CIC, 抗DNA抗体値の有意な改善($p < 0.05$)を認めた。

考察 膠原病疾患に併発する皮膚潰瘍・壊疽や中枢神経障害は、血管炎に基づく組織虚血に起因し、極めて難治性で治療に難渋する。HBO療法は、物理的溶存酸素上昇効果などによる組織虚血を改善して組織修復機転を誘導するとされる。また、局所血管拡張作用等を有するPGE1との併用療法がHBOの効果相乗的に高めた可能性が示された。さらに、検査成績からは、原病の免疫病態改善作用をも有するものと思われた。以上、HBOとPGE1療法の併用は、膠原病疾患に伴うこれらの難治性病態に極めて有効な治療法であると考えられた。

42. 壊死性筋膜炎の3症例

永井りつ子*¹⁾ 小浜正博*¹⁾ 喜納美津男*¹⁾

砂川秀之*²⁾ 新垣宣貞*²⁾ 金城幸雄*²⁾

{ *¹⁾ 沖縄南部徳洲会病院救急・高気圧治療部
*²⁾ 同 整形外科 }

本年6月と7月の2ヶ月間に3例の壊死性筋膜炎を経験した。症例1は52歳の健康な男性。右第4趾に白癬がみられたが放置していた。その2日後に右足背の腫脹と高熱のため当院受診した。腫脹は大腿部に拡がり、足背部の皮膚壊死も出現した。進行の速さとMRI所見より壊死性筋膜炎と診断、広範囲筋膜炎切除術を行った。創部より*S. pyogenes*が検出された。症例2は66歳の男性。重症糖尿病と陳旧性心筋梗塞を合併。5月頃より右足底部に難治性創が出現し、当院受診。創部より排膿がみられた。MRI所見と併せて壊死性筋膜炎と判断。受診13日目に右下腿切断術を施行した。原因菌は*P. penneri*と*P. aeruginosa*であった。症例3は脳出血と心筋梗塞の既往のある49歳の男性。右下腿の強度炎症と腫脹のため当院受診。皮膚症状とMRIの結果より壊死性筋膜炎と診断し筋膜炎切除術を施行した。創培養で*S. aureus*が検出された。3例とも早期に積極的な郭清と抗生剤投与に加え、高気圧酸素治療を行った。良好な治療効果が得られたが、基礎疾患の違いにより予後に差が生じた。これら3症例について報告する。